

22 医療社会福祉部



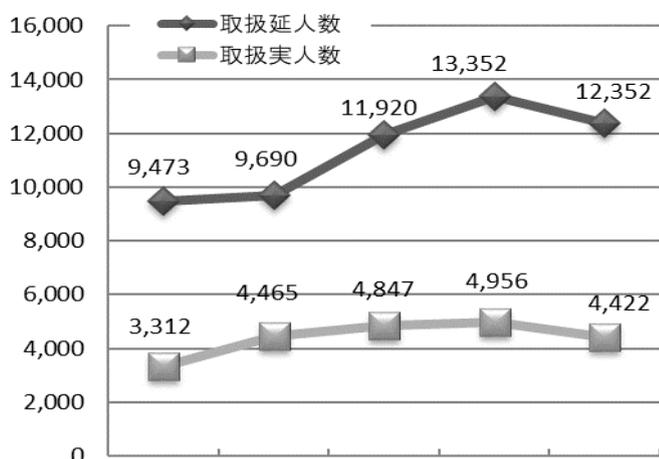
医療社会福祉部には、社会福祉士と精神保健福祉士の資格をもつソーシャルワーカー10名が在籍し、患者さんが抱える療養中の様々な課題への援助を行なっている。また、がん相談支援センターや認知症疾患医療センターにソーシャルワーカー各1名を配置し、専門の相談業務に従事している。

援助内容は、転院や在宅サービス調整などの退院支援、訪問診療や緩和ケア病院等への受診・受療援助のほか、経済的問題、育児・介護や家族関係に関わる支援、就学・就労等の社会復帰支援など多岐にわたる。援助内容の構成比率は、2019年度とほぼ変わらない状況である(22-2)。

近年は、入退院支援加算2の導入による退院支援数の増加、社会情勢の変化に伴う児童虐待やDV疑い、身寄りのない高齢者など社会的サポートが十分でない方への支援数の増加により、取扱実人数・延人数が増加傾向であった(22-1)。しかし、2020年度は一部の診療科を除き取扱実人数・延人数ともに全体に減少しており、とくに救命救急センターは2019年度延件数が2,190件だったのが、2020年度は1,044件の半数となっている(22-3)。これは、新型コロナウイルス感染症流行による相談者の減少や、救命救急センターの新型コロナウイルス感染症重症患者診療によってソーシャルワーカーへの転院調整依頼件数が減少したことによると思われる。

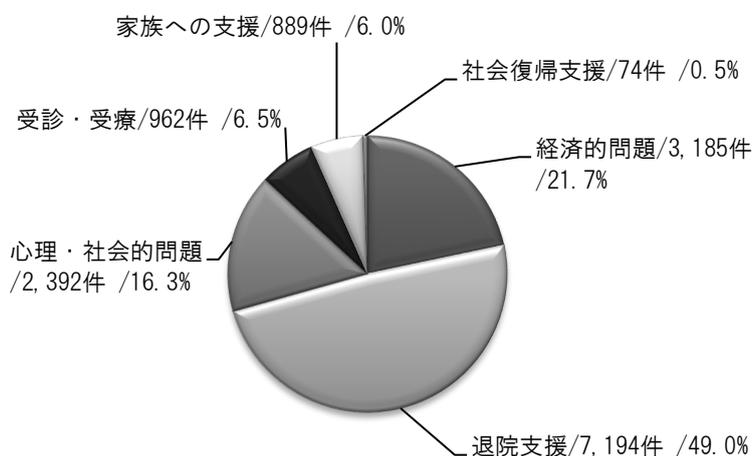
今後は、現在の社会情勢が生む新たな課題へも幅広く対応できるよう、引き続きソーシャルワーカーの支援の質の向上を目指し、他職種・他機関と協働しながら、相談支援・退院支援体制を強化することで、患者さんが安心して医療を受けられるよう努めていきたい。

22-1 取扱人数の年度別推移



(ハ) 2016年度2017年度2018年度2019年度2020年度

22-2 2020年度援助内容の構成比率(合計14,696件)



22-3 2020年度診療科別依頼延件数

区	分	件	数	構成比率 (%)	区	分	件	数	構成比率 (%)
循環器内科		697		5.6	乳腺・内分泌外科		274		2.2
血液内科		947		7.7	心臓血管外科		164		1.3
アレルギー・リウマチ内科		86		0.7	呼吸器外科		287		2.3
糖尿病・内分泌・代謝内科		21		0.2	整形外科		83		0.7
肝・胆・膵内科		127		1.0	形成外科		6		0.0
消化管内科		264		2.1	脳神経外科		3,357		27.2
炎症性腸疾患内科		178		1.4	皮膚科		18		0.1
呼吸器内科		474		3.8	泌尿器科		197		1.6
脳神経内科		369		3.0	産科婦人科		759		6.1
腎・透析内科		137		1.1	眼科		132		1.1
小児科 / NICU		995		8.1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科		388		3.1
肝・胆・膵外科		19		0.2	放射線科		4		0.0
小児外科		6		0.0	歯科口腔外科		135		1.1
上部消化管外科		23		0.2	救命救急センター		1,044		8.5
下部消化管外科		802		6.5	精神科神経科		45		0.4
炎症性腸疾患外科		280		2.3	その他		34		0.3
					合	計	12,352		100.0